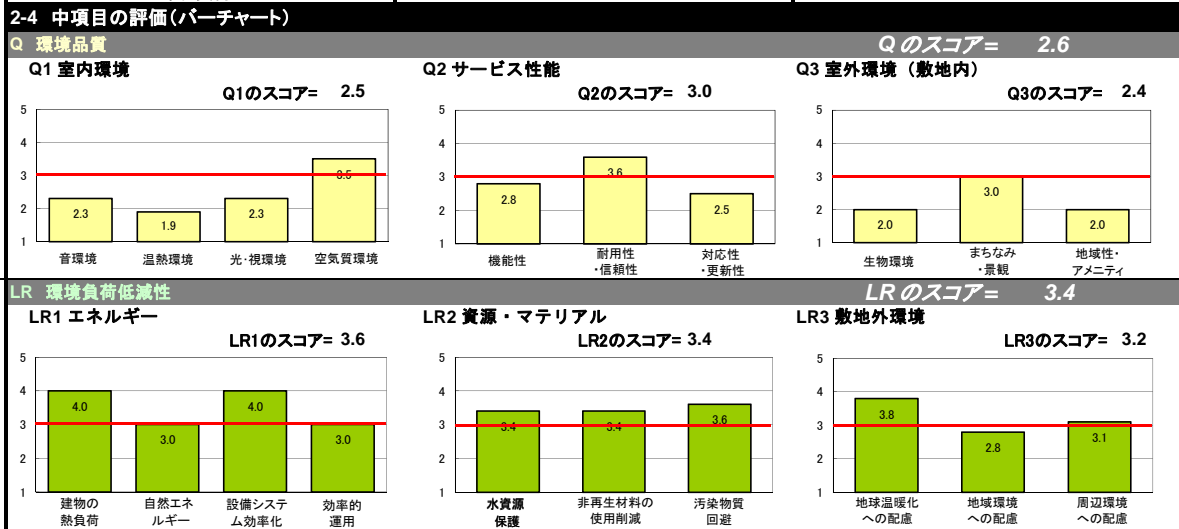
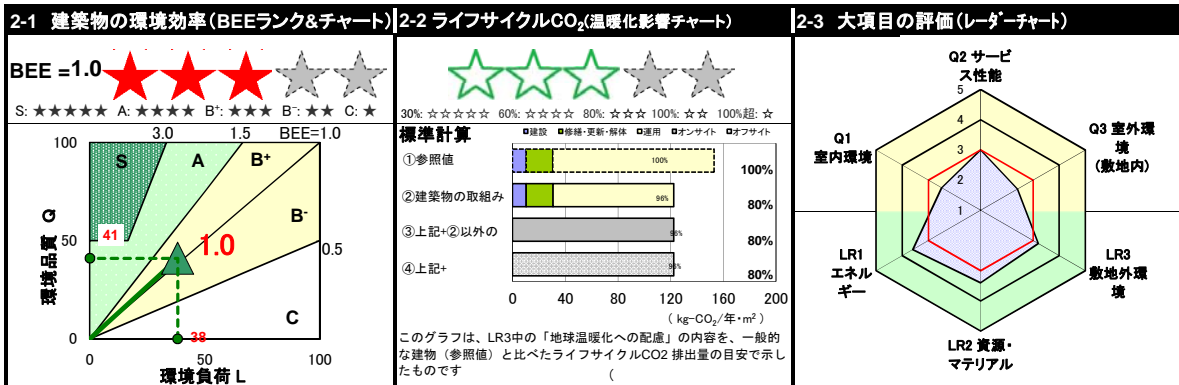


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)医療法人社団喜峰会介護施設	階数	地上 3F
建設地	春日井市	構造	S造
用途地域	用途地域指定なし、防火地域指定なし	平均居住人員	147 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年9月 予定	評価の実施日	2015年1月20日
敷地面積	4,783.67 m ²	作成者	今西良一
建築面積	924.94 m ²	確認日	2015年1月26日
延床面積	2,287.50 m ²	確認者	(株)協和コーポレーション 武内昇



3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.8</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.0</p> <table border="1"> <tr> <td>外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)</td> <td>23.8 %</td> </tr> <tr> <td>建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)</td> <td>0.0 %</td> </tr> </table>	外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)	23.8 %	建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)	0.0 %
外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)	23.8 %				
建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)	0.0 %				
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.2</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>				

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性

LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3 1 生物環境の保全と創出

④地域材の活用

Q-3 2 まちなみ・景観の配慮 4) 地域性のある素材による良好な景観形成

$$\text{外構緑化指数} = \frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積 (建築面積及び附属物面積) を除いた}} \times 100$$

$$\text{建物緑化指数} = \frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積 (法定面積)}} \times 100$$



スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	県独自基準	重点項目			評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質										
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 騒音										
1	室内騒音レベル				3.0	1.00	3.0	1.00		
2	設備騒音対策				-	-	-	-		
1.2 遮音										
1	開口部遮音性能			(共)D数予測式より、47.40 (宿)D数加重平均=42.99	2.8	0.40	1.8	0.40		
2	界壁遮音性能				1.0	0.40	1.0	0.30		
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)				4.0	0.60	3.0	0.30		
4	界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	1.0	0.20		
1.3 吸音										
					1.0	0.20	1.0	0.20		
2 温熱環境										
2.1 室温制御										
1	室温				1.8	0.35	2.2	1.00		
2	負荷変動・追従制御性				2.7	0.50	3.4	0.50		
3	外皮性能			外皮面積加重平均より、(共) 4.8、(宿) 4.15	3.0	0.38	3.0	0.57		
4	ゾーン別制御性				-	-	-	-		
5	温度・湿度制御				5.0	0.25	4.0	0.43		
6	個別制御				1.0	0.38	-	-		
7	時間外空調に対する配慮				-	-	-	-		
8	監視システム				-	-	-	-		
2.2 湿度制御										
					1.0	0.20	1.0	0.20		
2.3 空調方式										
					1.0	0.30	1.0	0.30		
3 光・視環境										
3.1 昼光利用										
1	昼光率			(共)昼光率加重平均=1.1、(宿)昼光率=1.38	2.0	0.25	3.0	1.00		
2	方位別開口				2.4	0.30	4.2	0.30		
3	昼光利用設備				2.0	0.60	5.0	0.60		
3.2 グレア対策										
1	照明器具のグレア				-	-	-	-		
2	昼光制御				3.0	0.40	3.0	0.40		
3	映り込み対策				1.0	0.30	3.0	0.30		
3.3 照度										
					1.0	1.00	3.0	1.00		
3.4 照明制御										
					2.0	0.15	1.0	0.15		
					3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気環境										
4.1 発生源対策										
1	化学汚染物質			ほぼ全面的にF☆☆☆☆採用	3.6	0.25	3.3	1.00		
2	アスベスト対策				4.0	1.00	4.0	0.63		
3	ダニ・カビ等				-	-	-	-		
4	レジオネラ対策				-	-	-	-		
4.2 換気										
1	換気量				2.0	0.30	2.3	0.38		
2	自然換気性能				3.0	0.50	3.0	0.33		
3	取り入れ外気への配慮				1.0	0.50	1.0	0.33		
4	給気計画				-	-	-	-		
4.3 運用管理										
1	CO ₂ の監視				5.0	0.20	-	-		
2	喫煙の制御			全館禁煙	5.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能										
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ										
1	広さ・収納性			最小居室有効床面積13.45㎡ ≥10㎡	2.4	0.40	3.8	1.00		
2	高度情報通信設備対応				3.0	0.40	5.0	0.60		
3	バリアフリー計画	●			3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性										
1	広さ感・景観				1.0	0.30	2.0	0.40		
2	リフレッシュスペース				-	-	3.0	0.50		
3	内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理										
1	維持管理に配慮した設計				3.0	0.30	-	-		
2	維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-		
3	衛生管理業務				-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震										
1	耐震性			基準法の25%以上増し耐震性	3.6	0.31	-	-		
2	免震・制振性能				3.8	0.48	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数										
1	躯体材料の耐用年数				4.0	0.80	-	-		
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	②		ALCの上、タイル:40年	3.0	0.20	-	-		
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.5	0.33	-	-		
4	空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.23	-	-		
5	空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.09	-	-		
6	主要設備機器の更新必要間隔			使用量上位3種のうち、2種以上にB以上を使用している。E不使用	3.0	0.08	-	-		
					5.0	0.15	-	-		
					2.0	0.23	-	-		

2.4 信頼性				3.4	0.19			
1	空調・換気設備			3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備			4.0	0.20			
3	電気設備		②	4.0	0.20			
4	機械・配管支持方法			3.0	0.20			
5	通信・情報設備			3.0	0.20			
3 対応性・更新性				2.6	0.29	2.4	1.00	2.5
3.1 空間のゆとり				2.2	0.31	1.8	0.50	
1	階高のゆとり			1.0	0.60	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ			4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				2.8	0.38			
1	空調配管の更新性		②	3.0	0.17			
2	給排水管の更新性			2.0	0.17			
3	電気配線の更新性			3.0	0.11			
4	通信配線の更新性			3.0	0.11			
5	設備機器の更新性			3.0	0.22			
6	バックアップスペース			3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出		●	③	2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮		●	④	3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30			2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		●	④	2.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上				2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.6
1 建築物の熱負荷抑制				4.0	0.30			4.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20			3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用				3.0	0.50			
2.2 自然エネルギーの変換利用				3.0	0.50			
3 設備システムの高効率化				4.0	0.30			4.0
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)				4.0				
集合住宅の評価				3.0				
4 効率的運用				3.0	0.20			3.0
4.1 モニタリング				3.0	0.50			
4.2 運用管理体制				3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護				3.4	0.15			3.4
1.1 節水				4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67			
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減				3.4	0.63			3.4
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.07			
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20			
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		●	②	3.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.05			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組		●		5.0	0.24			
解体時に分別しやすいボード下地構成+OAフロア				3.6	0.22			3.6
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.32			
3.1 有害物質を含まない材料の使用				4.0	0.68			
3.2 フロン・ハロンの回避				-	-			
1 消火剤				5.0	0.50			
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50			
3 冷媒								
発泡断熱材の採用なし								
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			①	3.8	0.33			3.8
ライフサイクルCO2排出率=80%				2.8	0.33			2.8
2 地域環境への配慮				3.0	0.25			
2.1 大気汚染防止				3.0	0.50			
2.2 温熱環境悪化の改善				2.5	0.25			
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25			
1 雨水排水負荷低減		●		3.0	0.25			
2 汚水処理負荷抑制		●		3.0	0.25			
3 交通負荷抑制		●		3.0	0.25			
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25			
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33			3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40			
1 騒音		●		3.0	1.00			
2 振動		●		-	-			
3 悪臭				-	-			
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制				3.0	0.40			
1 風害の抑制				3.0	0.70			
2 砂塵の抑制				-	-			
3 日照障害の抑制				3.0	0.30			
3.3 光害の抑制				3.7	0.20			
1 屋外照明及び屋内照明のうらみに漏れる光への対策				4.0	0.70			
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30			
光害対策ガイドラインの一部+広告照明配慮事項の過半以上								

重点項目スコアシート

(仮称)医療法人社団喜峰会介護施設新築工事

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEEあいち評価マニュアル2011年度

■評価ソフト:

CASBEE-NCb_2011 (bpi&bei) v.1.7_aichi

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.8
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.8	0.10	
② 資源の有効活用				3.2
Q2-2	耐震性・信頼性	3.6	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	2.6	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.4	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	
④ 地域材の活用				1.0
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

計画上の配慮事項	
総合	注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 省エネルギーや耐久性を考慮して、地球温暖化防止、ヒートアイランド現象の緩和に努めている。
Q1 室内環境	注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 断熱性能の高い外壁材の使用、屋根裏の断熱材設置等により空調負荷の低減に努めている。化学汚染物質にも配慮している。
Q2 サービス性能	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 耐用年数の永い配管配線材料を採用し、ライフラインである水・電気・通信などの防災対策に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内)	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 敷地周囲に緑地を効果的に配置し、植栽に親しむことができるように配慮している。
LR1 エネルギー	注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 LED照明の採用で設備システムの高効率化を図っている。
LR2 資源・マテリアル	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 節水器具や省水型機器を採用し、水資源の保護に努めている。分別が容易な施工方法の採用により、資源の大量消費を防ぐようにしている。
LR3 敷地外環境	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ライフサイクルCO2を削減し、地球温暖化防止を図っている。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。